

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名 | 北海道

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	真狩村立真狩中学校					教員数
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	12
学級数	1	1	1		3	
生徒数	25	24	38		87	

研究の概要

1. 研究主題

自ら真理を求める生徒の育成
～新しい教育課程に対応できる教科経営のあり方～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・全学年数学科
既習内容の理解の程度に差が出やすい教科であるため
- ・全学年理科
既習内容の理解の程度に差が出やすい教科であるため
- ・2学年及び3学年の選択数学、選択理科
必修教科(数学科・理科)との関連のもと、生徒の興味・関心を高め、数理的、科学的思考力の一層の充実を図るため。

(2) 年次計画

平成14年度	
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 生徒一人ひとりに基礎・基本を着実に定着させるための少人数指導の在り方 研究仮説 単元構想や個に応じた指導法を工夫し、少人数指導を行うことで、生徒に自主性が生まれ、その後の生活や学びに生きる力を育むことが可能になる。</p> <p>研究の内容・方法 ・単元のつながりを的確に把握し基礎的・基本的な指導内容を明確にする。 ・少人数による指導体制づくり。 (学習領域・分野ごとのグループ編成) (個々の定着度の把握・習熟度別の個別指導・・・選択数学・理科) ・生徒一人ひとりの興味・関心や意欲を引き出すための適切な教材の選択や個に応じた指導、生徒の自主性を育む授業展開の在り方。 ・フロンティアスクール指定校としての成果の普及。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 生徒一人ひとりに基礎・基本を確実に定着させるための少人数指導の在り方 研究仮説 単元構想や個に応じた指導法を工夫し、少人数指導を行うことで、生徒に自主性が生まれ、その後の生活や学びに生きる力を育むことが可能になる。</p> <p>研究の内容・方法 ・少人数指導による前年度の成果と課題を踏まえ、一層個に応じた指導方法や指導体制の深化を図る。 ・生徒一人ひとりのよさや個性を前向きに見取る評価の在り方。 ・研究のまとめ ・フロンティアスクール指定校としての成果の普及。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制

校内研修活動に、学力向上フロンティア事業に関する取組を位置付け、研修担当と教科担任との連携によって研究を進める。

[校長] - [教頭] - [研修部] - [FT 担当]
- [数学科部会]
- [理科部会]

平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- * 教え合ったり、聞き合う姿が多く見られるようになった。(数学)
- * 生徒が自主的に役割分担を工夫しながら実験を行うようになった。(理科)
- * 教師の中に授業中にゆとりが生まれ、個々の疑問点や質問・意見に対して、一つひとつ丁寧に答えることができるようになった。(共通)
- * 実験や教材の準備などに費やされる時間が少なくなり、学習活動の時間を従前より保証できるようになった。(共通)
- * 生徒の学習理解の状況が把握しやすくなった。(共通)

2. 今後の課題

- * 事業の推進方策が試行錯誤の状態であり、客観的なデータ収集までには至らなかったことから、評価方法について共通理解を図り、定量的評価などを計画的に取り入れていく必要がある。(共通)
- * 分野ごとの少人数指導を行ったが、進度の調整がうまくいかず定期テストや学力テストの直前で進度に若干の差が見られたことから、単元構想や指導時間について一層綿密な指導計画づくりに努めるとともに、日常から指導者間のきめ細かな連携を図っていく必要がある。(理科)
- * 単元の指導計画については共通理解のもと進めたが、本時の指導内容については打合せの時間が十分確保できず各自に任せがちであったことから、一単位時間ごとの目標や評価規準を明確にするとともに、指導過程についても差異のないよう取り組んでいく必要がある。(数学)
- * 公開研究会を通して普及活動に努めることはできたが、今年度の成果や課題をもとに普及内容を一層充実するよう努める必要がある。

学力等把握のための学校としての取組

- * 数学科での単元テスト及び定期テストでの S - P 表による個人データの分析
- * 年 4 回の定期テスト及び、1・2 年生は、年 2 回、3 年生は年 6 回の文教テストによる個人データの分析

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 11 月 27 日(木)フロンティアスクール公開研究会を開催。(参加者真狩村教育研究会会員、後志算数・数学を語る会会員、管内フロンティアスクール事業実施校教員等、約 50 名が参加)
- * 北海道教育委員会発行学力向上フロンティア事業普及資料作成(11 月発送済み)
- * 平成 16 年度 3 月末をめぐり既存ホームページ上に、学力向上フロンティア事業のページを増設、公開研究会での授業公開及び研究協議、普及活動(学習資料など)等、今年度の活動の記録を掲載予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科） 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無